小型ポンプ操法基準

審査基準	図	指揮者	１番員	２番員	３番員
待　　機		指揮位置にて“基本の姿勢”で待機する。	・第１ホースに正対し、“基本の姿勢”で停止する。	・吸管の中央部左側に“基本の姿勢”で、火点に向かって停止する。	・ポンプ前方中央部に“基本の姿勢”で、火点に向かって停止する。
開　　始		【審査員の指示『操法開始』】			
開始報告	1	・指揮位置で、まわれ右をして、審査長員に正対し、“基本の姿勢”をとる。 ・**『〇〇市〇〇会社自衛消防隊、ただ今から小型ポンプ操法を開始します。』**と報告する。 ・開始報告が終われば、まわれ右をして、番員と正対し“基本の姿勢”で待つ。	・“基本の姿勢”で待つ。		
タイム計測開始		・各コースの指揮者及び番員の準備が整えば、ピストルにて開始の合図をする。**『ピストル音』**			
操作開始		・**『操作始め』**と各番員に号令をかける。			・指揮者の号令に対し、**『よし』**と呼唱する。
		・**３番員の『よし』**の呼唱で、操作を開始する。			
ホース延長 吸管操作	2 ・ 3	《　ホース延長　》		《　吸管操作　》	
		・“右折り膝”で**筒先を背負い、第３ホースを左肩に担ぎ**、火点に向けて走る。 ・第１・第２ホースの延長距離を考慮して停止し、火点に向けて**第３ホースを延長する。** ・筒先を肩より下ろして**オス金具と結合**し、結合確認をして**『よし』**と呼唱後、火点に向かって、**“基本放水姿勢”**をとる。	・第１ホースを火点方向に**延長し、約２ｍの余裕ホースを取り、ポンプの放口に結合**、確認をして**『よし』**と呼唱する。 ・“右折り膝”で、**第２ホースを左肩に担ぎ**、第１ホースのオス金具を右手で持ち、火点に向けて走る。 ・第１ホース分を延長後に停止し、第２ホースを延長、**第１・第２ホースを結合**、確認をして**『よし』**と呼唱する。 ・第２ホースのオス金具を右手で持って前進し、 第３ホース（指揮者延長）の**メス金具に結合**、確認をして**『よし』**と呼唱し、指揮者（“基本放水姿勢”）の後ろに“基本の姿勢”で立つ。	**・吸管側に向きを変え、ストレーナー付近を持ち上げ３番員と協力してポンプ後方に伸長し、３番員の吸管結合の補助を行う。** ・３番員の結合完了の『よし』で、**向きを変えストレーナー付近にいたり、吸管を持ち上げ投入に便利な位置まで進み、吸管を置く。** ・吸管控え綱を取り外して立ち上がり**『よし』**と呼唱して、水利に投入する。 ・投入後、控え綱をポンプの一部に**“もやい結び”又は“巻き結び”にて結着する。** ・吸管操作が完了すれば、延長ホースに沿って火点方向に走る。（ただし、控え綱結着後、指揮者の「筒先員交代」の号令があるまでは、ポンプ横で待機しておくこと。）	・**『よし』の呼唱後、左に向きを変え、吸管結合金具付近にいたり２番員と協力して伸長し、結合しやすい位置に搬送し結合する。** ・結合が完了すれば**『よし』**と呼唱する。 ・ストレーナー方向に向きを変え、**２番員の吸管投入**の補助をする。 ・２番員が投入すれば、直ちにポンプのエンジンを始動し、揚水作業を行う。 ・揚水完了後、余裕ホースに配慮しポンプの横にて火点に向かい“基本の姿勢”で**１番員の『放水始め』の伝達を待つ。**
放水開始	4	・**『放水始め』**と１番員に指示する。 ・指示後、直ちに前進し余裕ホースを取って**放水停止線手前**で**“基本放水姿勢”**をとる。	・**『放水始め』**と復唱後“まわれ右”し延長ホースに沿って３番員に伝達に向かう。 ・伝達位置にて３番員に正対して停止し、“基本の姿勢”から右手を垂直に上げて**『放水始め』**と伝達する。伝達後、ホースに沿って火点に向かって走る。 **（ホース修正）**		・１番員の『放水始め』の伝達に対し、右手を垂直に上げて**『放水始め』**と復唱しポンプを操作し放水する。 **（ポンプ圧力は、０．４MPa以下とする。）**

審査基準	図	指揮者	1番員	2番員	3番員
タイム計測終了 (標的落下時)	4	・標的を落とす。			**・標的が落ちるのを確認出来たらスロットルを戻し、放口を閉めてエンジンを停止する。**
筒先員交代	5	・標的が落ちれば、1番員が戻って来るまで“基本放水姿勢”で待つ。 ・1番員に対し**『筒先員交代』**と号令をかける。 ・1番員との交代が完了し、1番員の『よし』の呼唱で、**“火点指揮位置”**に行き、隊員に正対し、“基本の姿勢”で2番員が放水補助に入るまで**隊員を監視する。** ・2番員が放水補助に入れば、火点に向きを変え“基本の姿勢”で**火点の状況を監視する。**	・指揮者の1歩後方に“基本の姿勢”で停止し**『伝達終わり』**と呼唱する。 ・指揮者との交代が完了し“基本放水姿勢”をとれば、**『よし』**と呼唱する。	・1番員の1歩後方にて、**放水補助**を行う。	
放水止め	6	≪　審査員の指示『放水止め』　≫ ・筒先員の方向に向きを変え**『放水止め』**と号令をかける。 ・2番員の『伝達終り』の呼唱で、**火点に向きを変える。**	・指揮者の号令に、**『放水止め』**と復唱する。 **・2番員の『伝達終り』の呼唱後、**“基本放水姿勢”のまま**『よし』**と呼唱し、**残水処理し“基本の姿勢”をとる。（右手は筒先を持ったまま右足にそえる。）**	・1番員の復唱に**『よし』**と答え、ホースに沿って3番員の位置まで走り、3番員に正対して“基本の姿勢”で停止する。 ・右手を水平に上げて**『放水止め』**と伝達する。 ・3番員の復唱を確認してから右手をおろし、延長ホースに沿って1番員の1歩後方まで行き**『伝達終り』**と呼唱する。	・2番員の伝達に対し、右手を水平に上げ**『放水止め』**と復唱した後、火点に向かって“基本の姿勢”をとる。
終了整列	7	【審査員の指示『おさめ』】 ・隊員の方向に向きを変え**『集合線に集まれ』**と号令をかける。 ・**指揮位置に戻り**、各番員に正対して“基本の姿勢”をとる。	・指揮者の『集合線に集まれ』の号令に対して、一斉に**『よし』**と呼唱する。 ・2番員を基準として集合線上に自主整頓する。		
服装点検	8	・各番員が集合線上で整列したのを確認し**『服装点検』**と号令をかけ、自らも服装の乱れ等を点検する。	・指揮者の『服装点検』の号令に対して、**服装の乱れ等を点検**する。		
終了報告		・指揮位置で、まわれ右をして、審査員に正対し、**“基本の姿勢”**をとる。 ・**『〇〇市〇〇会社自衛消防隊、小型ポンプ操法を終了しました。』**と報告し、まわれ右をして、番員に対して退出の指示を出す。	・“基本の姿勢”で待つ。		
退　　場		指揮者の指示のもと退場する。			